

(IOCロゴ)

清水伸子様
神宮外苑と国立競技場を未来へ手渡す会
ローザンヌ・2014年5月28日
照会番号：2014/CMAS/cnbb

Eメール連絡のみ

清水様

先日のIOCトーマス・バッハ会長あてのお手紙を有難うございました。バッハ会長の依頼を受けて私がかわりにお返事をさしあげます。

IOCは、環境上の諸条件がスポーツの実践に及ぼす影響、また逆にスポーツが環境に及ぼしうる影響について真剣に考察した最初のスポーツ団体の一つであります。従って、環境への配慮はオリンピック開催の準備と実施にあたり、開催都市の希望表明の当初から開催後の長期的影響の全時期にわたり、重要な要素であります。

東京の国立競技場に関しては、IOCの理解では、準備委員会は貴会が指摘する問題点を認識しております。準備委員会はIOCに対し、JSCは、1964年東京オリンピックで主会場として使われ、それ以来、日本のスポーツの重要な遺産となった国立競技場のデザインにつき、最適な解決案を現在考慮中であると確答しました。

JSCが競技場の修復・改造にあたる責任機関でありますから、IOCとしては、貴会はJSCと話し会って、彼らの計画の更なる詳細を請求することをお勧めします。我々としては、JSCと2020年東京オリンピック準備委員会は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの最上の舞台となる素晴らしい競技場を提供してくれると確信しております。

皆さんのオリンピック・ムーブメントとオリンピック・ゲームに対する関心に対し、お礼を申し上げます。

敬具

マーク・アダムズ
IOC報道部長